

令和４年７－９月期中小企業（製造業）

景況動向調査結果

令和４年１０月１５日
群馬県中小企業団体中央会

調査結果の概要

1. 調査目的 県内中小企業（製造業）における景況動向を的確に把握し、時宜を得た中央会指導方針の策定に資することを目的とする。
2. 調査期間 令和４年７月１０日～令和４年９月３０日
3. 調査方法 郵送調査
4. 調査対象 県内中小企業（製造業）で、本会会員組合所属の５００社
5. 回答状況 調査対象５００社のうち回答を得られたのは２５７社で、全体の回収率は５１．４％となった。回答企業の平均従業員数は４８．６人であった。

業 種 \ 項 目	調査数	回 答		平 均 従業員数
		数	率	
食 料 品 製 造 業	95 社	41 社	43.2%	39.4 人
繊 維 ・ 同 製 品 製 造 業	59	28	47.5	18.0
木 材 ・ 木 製 品 製 造 業	30	17	56.7	20.8
紙 加 工 品 製 造 業	32	17	53.1	22.1
窯 業 ・ 土 石 製 品 製 造 業	61	43	70.5	29.5
金属・機械・プラスチック製品製造業	223	111	49.8	77.0
計	500	257	51.4	48.6

6. 要旨

「回復傾向にあるものの、先行き不透明感が続く」

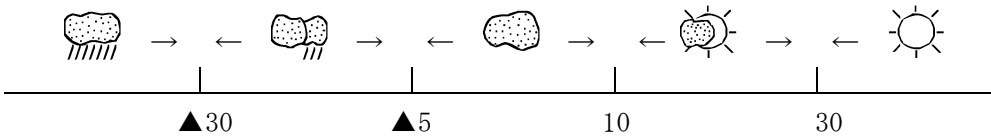
売上高と収益性を合わせたD I 平均値（前年同期比）〔※「前年同期比」は、令和 3 年 7-9 月期と比較した値。以下、「同期比」と表記〕については、▲19.0 となり、前回調査(令和 4 年 4-6 月期)の▲29.0 から 10.0 ポイント上昇している。来期見通しにおいては、3.0 ポイント上昇し、▲16.0 となる見通しになっている。

全体の天気図は、「小雨」となった。来期見通しにおいても「小雨」の状態が継続する見通しとなっている。

【図表 1】

	2 年		3 年				4 年			来 期 見 通
	7－9	10－12	1－3	4－6	7－9	10-12	1－3	4－6	7－9	
全 体	 ▲62.9	 ▲50.1	 ▲36.7	 ▲6.4	 ▲11.0	 ▲9.0	 ▲29.1	 ▲29.0	 ▲19.0	 ▲16.0

※景況天気図は「売上高」「収益性」(同期比)のD I 平均値を下記の基準に当てはめたもの。



業種別にみると、回復 2 業種、横ばい 6 業種、悪化 0 業種となっている。

回 復…「金属・同製品」		➡	
「機械・機器」		➡	
横ばい…「食料品」		が継続。	
「繊維・同製品」		が継続。	
「木材・木製品」		が継続。	
「紙・加工品」		が継続。	
「窯業・土石製品」		が継続。	
「プラスチック製品」		が継続。	

来期見通しにおいては、回復2業種、横ばい6業種、悪化0業種となっている。

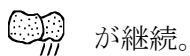
回復…「食料品」



「プラスチック製品」

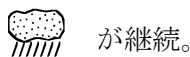


横ばい…「繊維・同製品」



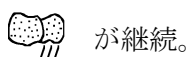
が継続。

「木材・木製品」



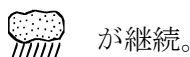
が継続。

「紙・加工品」



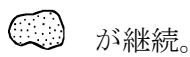
が継続。

「窯業・土石製品」



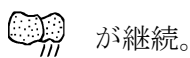
が継続。

「金属・同製品」



が継続。

「機械・機器」



が継続。

【図表2】

